

補聴器をパートナーに 人生をいきいきと！



まつもと より こ
松本 頼子様 (81歳)

- 愛媛県宇和島市在住
- 補聴器装用歴：3か月

期待を胸に 補聴器を作ってみたけれど…

中耳炎が原因で左耳は子供の頃からずっと難聴です。二十年前に眼鏡店で左耳用に補聴器を注文しました。期待に胸を膨らませ着けてみましたが、声は聞こえるけど何を言っているか分かりませんでした。でも、きちんと聴力も測って作ったのだから聞こえるはずだと思い、その後お店で何度か調整してもらいましたがそれ以上にはならず、しだいにお店に通うのをやめ結局使わなくなりました。

聞こえの不便を感じながらの生活

私は幼稚園に勤めていて六年前に退職し、その後園の手伝いは続けていました。次第に右耳も聞こえにくくなり仕事に影響が始め、会議はもちろん園児の声も聞きとりづらくなりました。子供たちが話しかけてくれるのにそれに答えてあげられないことが悲しくなり、今度は通信販売で集音器を買いましたが音が大きいだけで会話は理解できませんでした。

補聴器への再チャレンジ

昨年、左耳は真珠腫性中耳炎という病気で手術をし、補聴器はあまり効果がないことを知らされました。医師から右耳に補聴器をつけることと、えひめ補聴器センターさんを勧められました。前のことがあるので不安はありましたが相談に行ってみました。

以前のお店とは全く違い、言葉の識別など細かく私の聞こえ方を調べ、数週間貸出ししてもらいました。

とても良く聞こえて「これこそが補聴器なのね！」と感激しました。早く自分の補聴器を作りたいと購入に踏み切りました。



感染症対策に配慮しインタビューを行いました

「聞こえる」って素晴らしい！

本当に快適に使っています。以前は若い人たちの会話の内容は分からずやり過ぎしていたけど、今は良くわかります。先日も孫が息子に「おばあちゃんは補聴器をつけて聞こえるようになったから、悪口は言われんよ」と言いかけていました(笑)

早口は分かりづらい時もありますがそれは加齢による体の機能の問題との事で、昔のようにはいかないのだそうで



▲右耳に GNヒアリング社製
耳あな型を使用中

補聴器と歩むこれから

す。会話はもちろん、周囲の環境音を聞くことも大切だと知りました。
今まで聞こえなかった音が聞こえたとき、新鮮にうれしく感じます。酒井さんからのアドバイスですが補聴器をずっとつけて音に馴染んでいくことも必要なのだそうです。

この春で四十八年間務めた仕事からは身を引きますが、何かの形では関わっていきたいと思います。私は料理を作るのが好きなので差し入れもしてあげたいです。

歌も大好きで、コーラスをしたり大正琴にもチャレンジしたいと思っています。

やりたいことがありすぎるのですが、こんな風に色々挑戦したいと思えるのも聞こえることで自分の中で活力が高まってきたからだと思います。

聞こえないためにづらい思いをしたこともたくさんありましたが結局は何もかも良い方向に進んだと思います。耳鼻科の先生や酒井さんとの出会いも、今まで頑張ってきたご褒美として神様が私に与えてくれたのではないかと勝手に思っています(笑)

担当者より

松本様はいつも明るく前向きなお話を聞かせてくださり、私も元氣になれます。色々な経験をされてきたからこそ、その前向きさが強く伝わってくるのだと思います。「補聴器は買ってからがスタート」私にできる精一杯の聞こえのお手伝いをこれからもさせていただきます。

どうぞよろしくお願いたします。
(担当：酒井)



▲お手製のひなあられと
山菜おこわ好評でした！